

進化する都心

札幌の中心部である都心は今、生まれ変わろうとしています。今回の特集では、目指す都心の姿や現在進めている再開発の一部を紹介。札幌の街がどう変わっていくのかを見ていきます。

詳細 事業推進課 ☎(211)2706

写真中央の再開発が進む北1西1地区のビルは2018年春から順次オープン予定(詳細4ページ)。2017年9月5日撮影。

時代とともに街並みを変えてきた札幌

経済、にぎわいの中心地として北海道をけん引している札幌。中でも都心は、札幌冬季オリンピックなどの大きな出来事や人口の変化にともなって、発展を続けてきています。

1922年

市制がスタートした当時
低い建物が軒を連ねた



札幌市公文書館所蔵

▲大通西1丁目

1970年

オリンピック開催を前に
地下鉄などの基盤を整備



札幌市公文書館所蔵

▲大通西1丁目付近の地下街建設

2001年

街の魅力向上を目指して行った
札幌駅南口の再開発



札幌市公文書館所蔵

▲中央区北5条西4丁目

街をリニューアルする絶好の機会に

1972年の札幌冬季オリンピック開催時に整備された都心部の建物は、一斉に更新時期に。市ではこれを魅力ある都心へとつくり変えるチャンスと考え、少子高齢化が進む時代でも誰もが暮らしやすく、人やモノを引きつける魅力的な街を目指します。

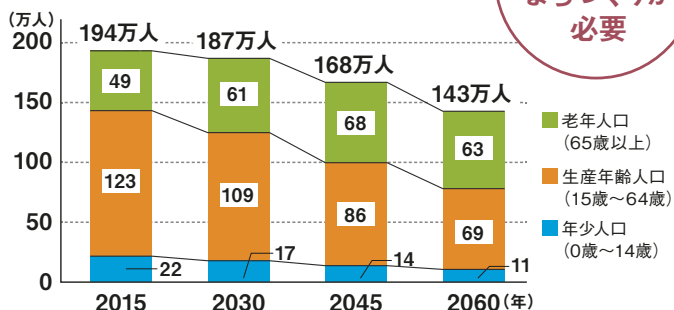
1972年札幌冬季オリンピックに合わせて建てられた建物が老朽化



一斉に建てられたため建て替え時期が集中

人口減少と少子高齢化が進んでいく見通し

札幌市の人口の将来見通し



(資料)札幌市まちづくり政策局企画課

将来を見据えたまちづくりが必要

魅力的で快適な都心に生まれ変わります！

ポイント1

街での移動をより便利に

地下空間や建物間の連絡通路が充実。地下空間と地上をつなぐエレベーターを増やして誰でも移動しやすくします。

ポイント2

もっと環境に優しい街に

エネルギーを自給する設備を使い、発電時に発生する熱まで利用。余ったエネルギーは近くのビルにも送れます。

ポイント3

街の緑と憩いの場を増やします

緑を増やして都心でも四季の変化を感じられる街並みに。また、人々がゆっくり過ごせる広場も造ります。



他にもこんなことを行います

ビル内に公共駐輪場を整備

路上に止める自転車が減って歩道が歩きやすくなります

災害に強い建物に

建て替えて耐震強度が上がり災害時は一時避難場所に

土地を効率的に利用

建物の高層化で床面積を増やし、使い道を広げます

これからの都心の開発は次のページをチェック！

再開発
MAP!

新しい建物が続々と誕生 これからの都心を 見てみよう!

※完成図は全てイメージです



- エレベーター地下直結**
地下空間と地上をつなぐことでバリアフリー化
- エコエネルギー設備**
環境に配慮したエネルギー設備を備える
- 公共駐輪場**
自転車置き場をビルの内部に整備



工事予定 工事中～2018年5月末

北1西1

文化芸術劇場や図書・情報館、放送局とオフィスの集積地

見どころは10月にオープンする市民交流プラザ。本格的な舞台芸術を楽しめる劇場や、文化芸術活動の相談やイベントが開催できる文化芸術交流センターが入ります。この他、図書・情報館では仕事や暮らしに役立つ専門書を多くそろえるだけでなく、打ち合わせにも使えるため、働く方に特におすすめです。

つるはら ひろあき
市民交流プラザの開設に携わる 鶴原 寛明職員

2 北8西1 経済と観光を活性化する超高層ビル

完成すると道内一の高さとなるこのビルには、約600戸の居住スペースや、観光客の宿泊施設、オフィスなどが集結。北海道の内外から人や企業を呼び込むことが期待されます。

工事予定 2019年春～2022年春





空中歩廊・歩行通路でつなげます



※配置は変更となる可能性があります

工事予定 工事中～2019年春(中央体育館)～
2021年春(全工事)

3

北4東6周辺 

創成川東部の スポーツ・健康の拠点

この地区の特徴は、現在大通東5丁目にある中央体育館の移築に合わせて、医療・福祉施設などを一体的に整備することです。建物間の移動に便利な連絡通路や緑あふれる広場も造る予定なので、完成をご期待ください。



創成東地区の再開発に携わる やましげ あきら
株式会社 ノーザンクロス 山重 明さん



工事予定 2018年春～2020年春

4

北3西3南  

さっぽろと大通をつなぐ 新たな憩いのスポット

民間の店舗やオフィスが入るチ・カ・ホ直結のビル。2階に設置予定の誰でも使えるテラスでは、晴れの日には開くガラス窓を取り付け、外からの風を感じられます。



5

南2西3南西  

商業施設、飲食店、住宅も備えた 駅前通と狸小路のにぎわいの場



交通量の多いこの地区には、地下街へ荷物を運ぶトラックの受け入れ場所を設けて路上駐車を減らし、より美しい街並みにしていきます。また、市電の停留場と一体となった広場を造るので、狸小路の新たな待ち合わせ場所になるとうれしいです。

当地区の再開発に携わる くぼた まさひこ
株式会社 旭堂 久保田 雅彦さん



工事予定 2019年夏～2022年夏

活力があふれ
世界を引きつける都心へ

市は今後も、企業や団体、市民の方々と協力して、街をより魅力的で世界にアピールすることができるよう都心の再開発に取り組んでいきます。皆さんも今後変わっていく街の姿に注目してみてくださいね。